

【ファシリテータ】



ここでは、90分の「ファシリテーターの進行例」と「そのポイント」を掲載しています。
また、NM法やマンダラ、研修ゲームの進行例も掲載しています。

1 アイスブレイク

まず、最初にゲームを行います。一言もしゃべらず、誕生日順に並んでください。1月1日に近い人から、大きな輪をつくってください。ジェスチャーはしてもかまいませんよ。今から3分です。始めてください。



■ 並び終わったら

それでは、答え合わせを行います。最初の人から誕生日を言ってください。・・・全員正解でした。さすがですね。
(拍手) それでは、最初の人から4人ずつに分かれて、Aグループ、Bグループごとに席についてください。

◆ ポイント

ここでは、アイスブレイクをかねて、グループ分けをします。グループ分けは、年齢構成や男女比を考慮します。

ファシリテーターはたとえ間違えていても、「こういうこともありますね。先生のおかげで場が和みましたね。」と雰囲気をよくする働きかけをしましょう。

2 導 入



■ 事例を配付して

今日の研修ですが、保護者との信頼関係を築くために「〇〇の保護者への対応」について研修します。実は、私も同様のことがあって、・・・だったんですよ。研修のねらいは「保護者に上手に伝える(例)」です。研修の流れは、(活動①の説明、活動②の説明)を行った後、全体で振り返ります。

◆ ポイント

ここでは、何について研修するのか、ねらいは何なのか、研修の流れはどのようになっているのかを述べます。ファシリテーターは、自分の経験を参加者に話すことで【自己開示】、研修への抵抗感が薄れます。

3 活 動 ① 【会話作成】



まず始めに、ペアで事例における保護者への対応を会話形式で作成していただきます。保護者はピンクの付箋紙、教員はブルーの付箋紙です。あくまでも教員がこのような話すと保護者はこう答えるだろう、と予想しながらストーリーをつくってください。その際、「聴く、共感する、伝える」という対応のポイントを参考にして作成します。最終的に、伝えるべきことが上手に伝わるようにしてください。

◆ ポイント

ここでは、保護者への対応について考えるようにします。

「聴く、共感する、伝える」というポイントを参考にすることを意識させます。

【ファシリテータ】



■ ペアで会話が作成できたら

では、ペアで作成した会話をグループで協議して1つにまとめてください。みんなが均等に発言できるようにグループで工夫してください。時間は、15分です。

◆ ポイント

ここでは、できあがった会話が複数ありますので、それを比べながらよいところを見つけさせていきます。協議の中でたくさんの意見が出るようにしましょう。

4 活動② 【ロールプレイ】



ロールプレイは、できあがった会話で疑似的に体験していきます。グループで教員役、保護者役、観察役を決めます。教員役と保護者役はロールプレイをしてください。観察役の人はその様子を見て、気付いたことや修正した方がよいところを発表してください。やってみることで新たな気づきが生れます。時間は5分です。

■ 1回目のロールプレイが終わったら

5分たちました。やってみてどうでしたか。うまくいったところ、うまくいかなかったところがあったと思います。みんなを出し合ってよりよい対応のポイントを見つけましょう。では、役割を交代してもう一度・・・

では、各グループのロールプレイを全体で発表します。役割は交代します。時間は5分です。では、○グループから始めてください。・・・ありがとうございました。

上手く保護者の気持ちを引き出していましたね。では次のグループお願いします。・・・

◆ ポイント

ロールプレイでは、疑似的にやってみてうまくいったところやうまくいかなかったところを振り返ることが大切です。ファシリテーターは、振り返りを促進させる働きかけをしましょう。

5 分かち合い・まとめ



■ 全体のロールプレイが終わったら

各グループのロールプレイは見事でしたね。たくさんよい対応のポイントがありました。では、今日の研修全体を通して、気付いたことや感じたことを1人1分程度で話しをしてください。順番は、私に近い方から右回りでお願いします。

■ グループの分かち合いが終わったら

今日の研修を通して、私は、話を聴くことで会話が成立しやすくなることや保護者の立場にたって、伝えるべきことを伝えるというキーワードがあったと感じました。

◆ ポイント

分かち合い・まとめでは、参加者の「気付いたこと」や「感じたこと」を大切にします。また、全員が均等に発言できるようにファシリテーターが順番を決めるなど工夫をすることがポイントです。最後に、ファシリテーターが参加者の声をもとに、研修をまとめましょう。

【ファシリテータ】

3 活動① 【NM法】



今日の研修のテーマは「保護者との信頼関係を築く」です。そのテーマから「聴く」「共感する」「伝える」の3つのキーワードを設定しています。まずは、個人でキーワードから考えられる解決策を付箋紙に書いていきましょう。時間は3分です。できるだけ、たくさん書いてくださいね。始めてください。時間になりました。次は、個人で書いた付箋紙を演習シートに貼っていきます。貼るときには「聴く」解決策は「聴く欄」に貼ってください。そして、解決策を具体的にしていきます。時間は12分です。

◆ ポイント

NM法では、キーワードからより具体的な対応策がたくさん出るようにファシリテーターは働きかけていきます。グループでの協議の際は、個人の考えを肯定的に見させることも大切です。

3 活動① 【マンダラ】



今日の研修のテーマは「保護者との信頼関係を築く」です。まずは、対応で気をつけることを個人で付箋紙に書いていきましょう。時間は3分です。できるだけ、たくさん書いてくださいね。始めてください。

時間になりました。次は、グループで演習シートの周りのマスに個人の考えが書かれた付箋紙を貼っていきます。同じような内容は同じマスに貼りましょう。

■ 付箋紙を貼り終わったら

付箋紙は貼り終わりましたか。それでは、周りの8マスの中で一番大切な付箋紙をグループで協議して決めます。

決まりましたら、もう一つのマスの中心に一番大切な付箋紙を貼ります。そして、具体的な対応策をグループで協議して決め、周りの8マスに書いていきます。

◆ ポイント

マンダラは、1つのテーマから8つの解決策を考え、その解決策から価値あるものを1つ選びます。そして、選んだ解決策をさらに8つの具体的な解決策にしていくものです。具体的な解決策が出にくい場合には、ファシリテーターが例を示したり、5W1Hを使う助言をしたりします。

4 活動② 【研修ゲーム】



今からゲームを行います。まず、各グループの封筒から設定カードを引いてください。カードにそれぞれの役割が書いてあります。教員役の先生は、伝えるべきことを上手に伝えてます。保護者役の先生は、できるだけ抵抗します。ただし、上手な対応には素直になりましょう。観察役の先生はよい対応を見つけます。後で発表しますのでよろしくお願ひします。準備はいいですか。始めてください。(役割を代えてもう1度行います。)

■ グループでのゲームが終わったら

では、最後に、代表でやっていただく方を決めたいと思います。どなたか教員役、保護者役に立候補する先生はいませんか。推薦でもいいですよ。お願ひします。では、代表の先生方にやっていただきましょう。4分間です。

◆ ポイント

研修ゲームでは、ゲームのルールを工夫して難易度を調整します。例えば、事前に打合せする時間を設定して対応場面をロールプレイしたり、すぐに対応場面をロールプレイしたりします。新しい気づきが生まれるようなゲームになるように工夫することが大切です。